

科目名	介護等体験					単位	2.0
担当教員	木野 美恵子						
授業形態	実技・実習	開講期間	集中	配当年次	3	授業番号	9114

●授業のテーマ

介護等体験に関する実習

●到達目標

「介護等体験に関する実習」により、将来教職についた場合にその体験を教育に生かせるように、現場イメージをもつためのマナーや援助を事前学習で学ぶ。7日間の現場体験学習で幅広い知識を得た後に、事後学習として現場で得た学びを記録する。

●学習内容(授業概要)

中学校一種免許状を取得しようとする学生は、「教育課程履修規定」第2条第3項に定める「介護等体験に関する実習」を履修しなければならない。

そのための事前学習および、実習、事後学習である。

●学習内容(授業計画)

この実習の内容は、障害者や高齢者等に対する介護の他、話し相手、散歩の付き添い、掃除、洗濯などの日常の幅広い体験が想定される。

現場に行く前に実習施設に対する事前演習を学内で実施する。

そのために、準備学習として「食事介助」「移乗技術」を調べてくること。

この期間は授産施設、老人ホーム等の社会福祉施設等や、盲、聾、養護などの特別支援学校等において、計7日間の現場実習を実施する。

事後学習の成果を実習記録として提出する。

実習終了後に、それぞれの施設より実習証明書が発行される。

●準備学習・事後学習の内容

予め、マナーや援助を調べておく。

事後学習として、現場で得たものを記録する。

●成績評価方法・基準

実習への取り組み、実習態度・事後学習のすべてが評価対象である。とくに、実習日数をすべて満たさないと評価は不能で、証明書は得られないので注意すること

●テキスト(必携)

全国特別支援学校長会編著 ジアース教育新社発行 『介護等体験ガイドブック フィリア』

●参考文献/その他

その都度提示する

●履修上の注意

実習態度・レポートのすべてが重視される